

自律移動支援プロジェクト

～場所が話しかける新しいサービスシステムの実現に向けて～

自律移動支援プロジェクトの背景

- 急速な少子高齢化により、介護される人も、する人も高齢化する社会となり、すべての人がひとりで自由に出かけられるための情報提供が必要。
- ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、訪日外国人の方々へ多言語での情報提供が必要。

自律移動支援プロジェクトの目的

- 「ユニバーサル社会」の実現のため、ユビキタスネットワーク技術を使って「移動経路」、「交通手段」、「目的地」などの情報について「いつでも、どこでも、だれでも」アクセスできる環境をつくる。

自律移動支援プロジェクト サービスイメージ

今までモノに貼付されてきた IC タグを場所にくくりつけると…



国土交通省での取り組み

国土交通省の平成 17 年度重点施策においても「ユニバーサルデザインの考え方に基づく国土交通施策の構築」のための具体的施策として「自律移動支援プロジェクト」を取り上げ、その推進に向けて取り組んでいる。

実証実験で得られた成果をもとに平成 17 年度中に技術仕様書を策定し、平成 18 年度以降、全国各地へ展開できるよう進めていく。